

□10 保健衛生について

《登園する前に》

○朝食について

朝食は1日の元気の源です。朝から元気に遊べるよう、しっかりと朝食を食べさせてください。

○排便について

排便の状態は子どもの体調を判断する目安となります。便秘、未消化便、下痢便など、よく観察してください。毎朝、家庭で排便することは精神的な安定感につながりますので、できる限り習慣づけてください。

○検温について

毎朝必ず検温し、「おはようブック」に記入してください。

37度5分以上は危険信号です。登園を控えて様子を見てください。

○その他

お子さんの様子が普段と異なる点が見られた場合は、必ず職員に連絡してください。

ご家庭でのけがなども発生状況や状態をお知らせください。

《在園時間内でのこと》

発熱（38度前後）したり、具合が悪くなったりした場合は保護者の方に連絡し、お迎えをお願いします。迅速な対応をお願いします。なお、症状によっては熱に関係なく連絡することもあります。

子どもの体調は急激に変化することもあります。緊急連絡先の欄には必ず保護者との連絡が取れる電話番号の記入をお願いします。

また、緊急連絡先が日によって変わる場合は、連絡帳に記入してください。

嘔吐するなどして衣服が汚れた場合にはビニール袋などに入れてお返ししますので、ご家庭での洗濯をお願いします。

万が一けがをした場合は、必要に応じて救急車で医療機関に搬送します。保護者にも連絡しますので、保険証と乳幼児受給者証を持参の上、医療機関においでください。

また、十分に注意して保育を行っていますが、集団生活のため軽微なけが（すり傷、切り傷、鼻血、こぶ、かみ傷、ひっかき傷など）に関してはあらかじめご了承ください。

《病気について》

○伝染病にかかったとき

学校保健安全法では、はしか、百日咳、水痘、耳下腺炎などの伝染性の病気にかかった場合は、その子どもの出席を停止しなければならないと定めています。

こども園も出席停止期間についてはこれに準じていますが、乳幼児は学童に比べると抵抗力が弱いので、お子さんの年齢や健康状態によっては多少長くなる場合もあります。

なお、病気が治って登園する際には、本人の健康がこども園での生活に支障がないかどうか、また他の子どもに伝染しないかどうか、医師に相談し指示を受けてください。

また、その他の伝染性疾患（手足口病、伝染性紅斑など）の場合にも同様に医師の指示を受けてください。

○持病について

アレルギー性疾患（小児ぜんそく、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎など）、ひきつけ、関節のはずれやすい子、薬品に負けやすいなど、保育をする上で注意しなければならないことがありますら、必ずお知らせください。

○薬について

医療行為にあたるため、原則としてこども園での投薬は行いません。ご家庭で薬を飲ませてください。

ただし、医師の処方を受けた薬に限り、医師の指示に基づいて対応することができます。その際、「薬品投与連絡票」と処方箋の提出が必要となります。

また、お子さんを介しての薬の受け取りはできません。保護者が直接保育教諭に手渡しで依頼があった場合のみ行います。

※市販の薬は預かりません。

※薬は一回服用分のみとし、必ず薬の一つ一つに子どもの名前を記入してください。

※薬や現金の授受は事故防止のため口頭で確認できる場合のみ、お受けいたします。

口頭で確認できず、バッグに入っていた場合は、そのままお返しいたします。

○予防接種について

予防接種をした場合は、担任までお知らせください。

予防接種後は副反応がでたり、体調が変化する可能性があるため、お休みの日又は降園後にお問い合わせいたします。

※予防接種後、当日の登園はお控えください。

○連絡

遅刻・欠席の場合は、必ず午前9時15分までに連絡願います。

午前11時以降に登園する場合、昼食を食べてから登園してください。

症状、体温、医療機関の受診の有無などお知らせください。

○その他

感染症予防のため、玄関等には体温計・消毒薬を置きます。毎日の検温と消毒にご協力ください。

○出席停止となる感染症

麻疹（はしか）	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
水痘（みずぼうそう）	急性出血性結膜炎
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	髄膜炎菌性髄膜炎
結核	腸管出血性大腸菌感染症
咽頭結膜熱（プール熱）	風しん

○医師の診断により場合によっては出席停止となる感染症

溶連菌感染症	伝染性軟属腫（みずいぼ）
手足口病	伝染性膿疱（とびひ）
ウィルス性肝炎	RSウイルス
伝染紅斑（りんご病）	ヘルペス口内炎
ヘルパンギーナ	アタマジラミ
マイコプラズマ肺炎（感染症）	
流行性嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）	

○発熱時の対応

登園を控えていただくのが望ましい場合	保護者に連絡さしあげる場合
<ul style="list-style-type: none"> 朝から体温が 37.5 度以上あり、元気がなく機嫌が悪い 24 時間以内に 38 度以上の発熱があった 24 時間以内に解熱剤や座薬を使用している 食欲がなく、朝食・水分が摂れていない 	<ul style="list-style-type: none"> 38 度前後の発熱がある 食欲がなく、水分が摂れない 午睡中、咳で眠れず目覚める 等

○下痢時の対応

登園を控えていただくのが望ましい場合	保護者に連絡さしあげる場合
<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると下痢がある 下痢に伴い普段より体温が高めである 	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると下痢をする 腹痛を伴う下痢がある 等

○嘔吐時の対応

登園を控えていただくのが望ましい場合	保護者に連絡さしあげる場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある 嘔吐に伴い普段よりも体温が高めである 食欲がなく水分も欲しがらない 	<ul style="list-style-type: none"> 咳を伴わない嘔吐がある 2 回以上の嘔吐があり水を飲んでも吐く 吐き気が止まらない お腹を痛がる 下痢を伴う 等